

## 2020 年度法政大学地理学会定期総会（ウェブ開催）

- ・ 日時：2020 年 5 月 7 日（木）～5 月 22 日（金） 12 時
- ・ 審議：メール・はがき等

### I 法政大学地理学会会長挨拶

法政大学地理学会会員の皆さまには、お変わりございませんか。例年であれば 5 月 10 日前後に開催される定期総会・評議員会ではありますが、本年は新型コロナウイルス COVID-19 の蔓延のために、各種の集会を開催することができません。真に遺憾ながら、法政大学においても卒業式・入学式を始め、学内の教育・研究活動がおおきく妨げられている状況です。

会員の皆さまには、このような現況をご理解いただき、非常の場合としての総会、その他学会活動の対応にご理解くださるようお願いいたします。今後の諸行事につきましても各種ご連絡はウェブを利用するなど、ご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

目に見えない新型コロナウイルスの感染を防いでゆくことは、なかなか容易ではありません。さまざまな不便を共に耐えるというかたちで、手をとってこの難局を乗り越えてゆきましょう。会員の皆さまにはお体をご自愛なされて、この厳しい期間を乗り切ってくださいるように切望いたします。

細田 浩

### II 議事

#### 1. 会則改正

第 3 章に新たに「除籍」の項目を設け、第 14 条に「不名誉な行為を犯した会員」に対する除籍条項を追加し、以降の章、及び条項を繰り下げる。

#### 第 3 章 除籍

第 14 条 会員が次の一に該当するときには、評議員会の議決を経て除籍に

することができる。

1. 会費を2か年以上滞納したとき。
2. 本会の名誉を傷つけ、また本会の活動を著しく阻害する行為があったとき。

#### 付 則

10 本会則は、これを一部改正し2020年〇月〇日から実施する。

#### 2. 名誉会員の推薦

前法政大学地理学会会長の佐藤典人会員を名誉会員に推薦する

#### 3. 2019年度事業報告

##### 1) 2019年度定期総会の開催、および2020年度定期総会の開催準備

法政大学地理学会定期総会は、2019年5月11日（土）16時20分より、法政大学市ヶ谷キャンパスボアソナードタワー13階BT1300教室にて開催。出席者28名、委任状38名、計66名により成立。同定期総会に先立ち、13時30分より、BT1300教室にて評議員会を開催。出席者14名（委任状7名）。いずれも常任委員会から提出された原案が承認された。2020年度定期総会は新型コロナウイルスの感染拡大によりメールでの開催となった。

##### 2) 2019年度「法政大学地理学術大会」（中止）について

2019年度の法政大学地理学術大会は、2020年2月22日（土）に法政大学市ヶ谷キャンパス富士見坂校舎等で、文学部地理学科と共催で開催される予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることから中止となった。エントリーされた発表総数は139であり、内訳は卒業論文発表109（通学課程107（優秀卒業論文発表4を含む）、通教課程2）、一般発表（口頭発表）8（うち修士論文発表7）、一般発表（ポスター発表）22であった。

##### 3) 第9回「法政大学地理学会賞」（最優秀卒業論文賞）受賞者の選考・決定

学術大会は中止となったが、卒論生の努力に報い、在学生に対して指針を示す意味から、第9回法政大学地理学会賞（最優秀卒業論文賞）の審査は行

うこととなった。発表（プレゼンテーション）を踏まえての審査という例年どおりの方法は採れないが、審査員の方にはできるだけその方法に近い形で審査を行ってもらいたいと考え、候補者が学術大会に用いる予定であった発表資料（プレゼン資料および口頭説明資料）を基に審査を行っていただいた。したがって、例年は学術大会の日のみで審査が完結するところ、今年度は日数を掛けて審査を行う形となった。

法政大学地理学術大会で優秀卒業論文に揚げられたのは百瀬友哉、高梨智代、横山数馬、富田 龍の4名。選考委員会は近藤博史先生（横浜国立大学環境情報研究院）、千葉 晃先生（練馬区立石神井西中学校）、前畑明美先生（法政大学）、宮内崇裕先生（千葉大学大学院理学研究院）、宮地忠幸先生（日本大学経済学部）の各選考委員による選考過程を経て、最優秀卒業論文に選ばれたのは横山数馬の「タイ国境地域におけるカンボジア人出稼ぎ労働者の就業と生活の実態—タイサケーオ県アランヤプラテートを事例として—」である。なお、最優秀卒業論文賞と3名の優秀卒業論文対象学生については、学位記の交付時に表彰状等を贈呈した。

#### 4) 機関誌『法政地理』52号（2020年3月20日発行）と法政大学地理学会ニュースの発行（年4回発行）

「法政地理」52号は宍倉正展先生の記念講演の記録、論説4点、フォーラム、文献紹介を内容とし、総頁134頁であった。

法政大学地理学会ニュースを以下の通り発行した。

- 第1号 2019年6月1日発行
- 第2号 2019年9月30日発行
- 第3号 2019年12月27日発行
- 第4号 2020年3月23日発行

#### 5) 例会の開催

第1回例会 2019年7月6日（土）シンポジウム「東京と江戸をつなぐ～風景と場所～」(法政大学江戸東京研究センターと共催)をテーマに開催した。司会の小原丈明集会委員長から主旨説明があった後、米家志乃布（本学文学部）、牛垣雄矢（東京学芸大学）から講演をいただいた。また、コメンテーターは根崎光男（本学人間環境学部）、横山泰子（本学理工学部・江戸東京

研究センター長) にお願ひし、会場からの質問も活発になされた。13 時 30 分から 17 時 30 分まで、法政大学市ヶ谷キャンパス富士見 ゲート G602 教室にて開催し、188 名の参加であった。

第 2 回例会 (巡検) 2019 年 12 月 14 日「大都市内部の産業地域を巡る」  
案内者：小原文明、佐々木星弥。皮革産業資料館、かつぱ橋道具街、2k540、宝飾品街、日本橋横山・馬喰町の服飾問屋街など全行程 7km ほど歩いた。参加者は 28 名 (学生会員 11 名、一般会員 17 名)。

#### 6) ホームページの管理・運営

学会開催のイベントごとにホームページにて情報を発信している。

ホームページの年度毎の内容更新をしている。

ニューズレターの内容、「法政地理」誌 51 号までの内容を PDF にて掲載。

HP 問い合わせページの管理や Facebook との連携をしている。

#### 7) 会員名簿の管理

2020 年 4 月 1 日現在 会員総数 771 名

名誉会員：6 名

一般会員：251 名 (学内院生 22 名を含む)

学生会員：514 名 (学部学生 427 名、通教学生など 87 名)

#### 8) 「法政大学地理学会創立 70 周年記念論文集」の刊行に関わる事業

・編集委員会 4 回開催 (7/27、8/27、11/23、2/10)

・2020 年 3 月 31 日原稿締切、8 月頃に印刷所へ入稿

・2021 年 2 月下旬 法政大学地理学会創立 70 周年記念論文集 発刊

#### 9) 「地理学研究奨励金」の授与に関わる事業

授与者が以下の通り決定 (2019 年 12 月 15 日)

・「沖縄本島における米軍基地跡地開発の検証

—北谷町の美浜アメリカンビレッジ地区を例として— 朱 暁蕾

・「中央アジア・イシク湖及びその流域の水質に関する地理学的研究」

齋藤 圭

- ・「長崎県島嶼における水環境の特性と形成要因  
—対馬・壱岐・平戸を中心に—」

矢巻 剛

4. 2019 年度決算報告

別紙 1

5. 2019 年度監査報告

別紙 2

6. 2020 年度事業計画

- 1) 2020 年度ウェブによる定期総会の開催、および 2021 年度定期総会の開催準備
- 2) 2019 年度法政大学地理学術大会中止に伴う代替行事の開催
- 3) 第 10 回「法政大学地理学会賞」（最優秀卒業論文賞）受賞者の選考と発表
- 4) 機関誌『法政地理』53 号（2021 年 3 月発行）法政地理学会ニュース（4 回発行予定）の刊行
- 5) 例会の開催  
巡検（7 月または 9 月）、シンポジウム（11～12 月）の開催
- 6) 学会ウェブサイトおよび facebook、Twitter の管理・運営  
法政地理の PDF 掲載など
- 7) 会員名簿の管理
- 8) 支部活動の援助等
- 9) 「法政大学地理学会創立 70 周年記念論文集」の刊行（2021 年 2 月発行）
- 10) 「地理学研究奨励金」の授与に関わる事業
- 11) 選挙管理委員会の設置と評議員選挙
- 12) その他

2020 年度以降の法政大学地理学術大会のあり方について検討する

7. 予算案

別紙 3

8. その他

## 1) 会員名簿管理用の新規会員管理システムの導入

会員管理システムがこれまで非常に複雑なエクセルファイルにより行われてきたため、入力や検索ミスなど人的ミスで会員に迷惑をかけることが時々生じていた。このような状況を改善するため、新たな会員管理システムを専門業者に発注し、シンプルなシステムを構築することを計画した。新システムが立ち上がると、今後担当者が変わってもスムーズに引継ができ、作業量も大幅に減らすことができ、会員にもメリットが大きいと考えられる。

## 2) 報告

### ア) 細則改正

常任委員会（2020年2月12日）において、法政大学地理学会会則の細則を以下のように改正したので報告する。

### 細 則 会費および会員

- 1 一般会員の会費は、年額3,000円とし、毎年度末までに次年度の会費を支払うものとする。ただし、大学院生（研究生、研修生を含む）の会費は、年額1,500円とする。
- 2 学生会員の会費は、年額1,500円とし、毎年年度初めに当該年度の会費を納めるものとする。
- 3 災害などの特別な事情が生じた場合は、会費を返納することができる。
- ~~3 会費滞納が1年以上におよぶ会員は、会員としての権利を失うものとする。~~
- 4 会費を滞納した会員は、会員としての権利を失うことがある。
- ~~4 以上3項の細則は、1983年4月1日から実施する。ただし、1にある大学院生の会費については、2016年4月1日より、2にある学生会員の会費については、1985年4月1日より適用する。~~
- ~~4-5 本細則は、2020年2月12日より適用する。~~

イ) 『法政地理』 投稿規定の改正

常任委員会 (2020 年 4 月 15 日) において、『法政地理』 投稿規定を以下のように改正したので報告する。

『法政地理』 投稿規定

1987 年 1 月 制定

201920 年 2 4 月 第 910 回改訂 『法政地理』 編集委員会

- 5) 原稿は原則としてワープロソフトで作成する。手書きによる原稿を希望する場合は、事前に編集委員会と協議する。原稿の分量は論説を刷上がり16頁、研究ノートを12頁、フォーラムを8頁、資料解説を4頁、文献紹介を2頁以内とする。原稿はB5A4版に横書きし、天地左右の余白と行間隔を十分に取り、1枚22字×20行（文献紹介は24字×20行）で作成する。刷上がり1頁は原稿4枚に相当する。

編集委員会が認めた超過頁分の経費やカラー印刷について会誌製作に関わる追加の諸経費が発生した場合、原則として著者の実費負担とする。ただし、編集委員会が特別に依頼するものはこの頁制限通りではない。原稿の提出は電子媒体（CD、フラッシュメモリなど、以下同じ）あるいは電子メールの添付ファイルとし、文書ファイルは一太郎・Word・テキストファイルのいずれかの形式とする。

- 16) 著者の実費負担により50部単位で別刷りを作成できる。ただし、~~学生会員・大学院生については50部まで無料とする。~~学生会員・大学院生の投稿論文、並びに卒業論文、修士・博士論文の内容を卒業・修了後2年以内に投稿した論文、また編集委員会が特別に依頼するものについては50部まで無料とする。

以上